

第42回 全国都市緑化ぎふフェア

ぎふ グリーン・ライフ フェスティバル 2025 Gifu Green Life Festival 2025

2025年4月23日～6月15日まで開催されました



6月2日～3日にかけて、岐阜県で行われている「第42回全国都市緑化ぎふフェア ぎふグリーン・ライフフェスティバル2025」に広報委員3名で視察に行ってみました。

ぎふフェアは、“バラ・花”がテーマの「ぎふワールド・ローズガーデン」、「里のみどり」がテーマの「ぎふ清流里山公園」、「歴史・文化・アート」がテーマの「養老公園」、「水・川」がテーマの「世界淡水魚園」、「木・森」がテーマの「岐阜県百年公園」、「未来・夢」がテーマの「各務原公園」、「森」がテーマの「飛騨会場（飛騨地域の大自然）」の7つの会場で構成されています。

会場は県内各地に点在しており、2日間ですべてを視察することは困難なため、初日に「ぎふワールド・ローズガーデン」「岐阜県百年公園」「各務原公園」、2日目に「世界淡水魚園」を中心に視察しました。

ぎふワールド・ローズガーデンでは、入口からバラのウエルカムガーデン・様々なテーマに基づいたバラの庭園・回廊が続いており、あたり一面の見事なバラとバラの香りが相まって、別世界に入り込んだようでした。そして、シンメトリーが美しいモロッコガーデン、バラの精油や草木染めなどが展示されている花と暮らしのギャラリーを見て回りました。展望デッキから眺めるローズテラスとバラ回廊の景色は壮観でした。

最後に、自治体・企業団体や学生の出展した庭園や花壇を見ながら散策し、入口のカフェでバラのソフトクリームを食べ一息ついてから会場を後にしました。

昼食の、飛騨牛のとろけるハンバーグに舌鼓を打ち、岐阜県百年公園へと向かいました。

北口広場には広い芝生とレインガーデン（雨水浸透緑地帯）が整備され、林へ誘う仕掛けが施された林の



バラのウエルカムガーデン



ぎふワールド・ローズガーデン「バラの庭園」

ガーデン、大径木の伐採木材で作られた遊具・ベンチは見事な出来でした。

続いて各務原公園に向かい、保育園・幼稚園児のデザインをもとに制作された芝生アートや、彩り豊かな花壇の展示された特設ガーデンを見て1日目を終えました。

2日目は朝からの本降りの雨の中、世界淡水魚園を視察しました。水路や芝生に囲まれた公園内には鵜飼や水舟をモチーフとした水上ガーデンが特設され、「清流の国ぎふ」の水文化を感じることができました。

素晴らしい景観のぎふワールド・ローズガーデンをはじめ、どの会場でも園内を美しく管理されている方々に頭が下がる思いでした。

会場が広域にわたっており、2日間の限られた日程では、飛騨地域の大自然が体感できる飛騨会場まで足を伸ばすことばできませんでした。機会があれば、天気の良い日にじっくりと時間をかけて各会場を回りたいと思います。

(広報委員 海瀬大五郎)



モロッコガーデン



出展庭園



大径木の伐採木材で作られた遊具



鵜飼や水舟をモチーフとした水上ガーデン